



2014～2015 年度

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH



越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

会 長:松 崎 義 一

例会場:越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

副 会 長: 中 村 義 雄

T E L 048(975)9898

幹 事: 小宮山 大 介

F A X 048(977)3741

会報委員長: 関 雄 二 郎

創 立:1976 年 5 月 11 日

第 1886-1887 回 例会記録 No.18

平成 26 年 12 月 10 日

司会: 中島 正義 編集:関 雄二郎

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング「我らの生業」
3. ロータリーの目的
4. 3 分間ロータリー情報
5. 会長卓話
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. スマイル報告
9. 年次総会
10. 出席報告

会長卓話



松崎 義一 会長

会員の皆様こんにちは、
本日(12 月第 2 例会)は、我がクラブの年次総会です。
すなわち、次年度の役員及び理事の選挙を行います
ロータリークラブの行事の中で、クラブ定款で定めら
れているクラブの会合は、「例会」と「年次総会」です。
特に例会については、「毎週 1 回、定められた日時に
開催する」ことが義務付けられております。毎週開催
では新入会員の勧誘が難しいので「クラブの理事会
決議で例会を隔週開催にしたいのだが」という問合
せが時折あるそうですが、クラブ定款に明記された条
項は、当然のことながら、各クラブはすべて遵守しな
ければなりません。

次年度の役員・理事を選出する年次総会の開催も
同様にクラブ定款で義務化されております。なお、ク
ラブ例会・クラブ年次総会・理事会の取り決め方につ
いての詳細は各クラブの「クラブ細則」で個別に定め

次回例会案内 平成 26 年 12 月 24 日

雑誌記事紹介 大島直行会員



ることになっています。

越谷北ロータリークラブでは、最大で 役員 7 名、理事 11 名の、合計 18 名の役員・理事で構成することができます。さて、ロータリークラブの年度はなぜ 7 月から始まるのでしょうか。1905 年にシカゴ・ロータリー・クラブが誕生し、アメリカ各地でロータリー・クラブが設立されるようになりました。そうなりますと、いろいろなクラブが顔を合わせるコンベンション(集会・大会)を開こうということになりました。今はコンベンションを国際大会と訳しています。世界大会という人もいます。当時はアメリカだけにロータリー・クラブがありましたのでコンベンションは、単に大会という意味でした。ロータリー・クラブがカナダに広がってコンベンションは、International convention となり、現在に至っています。

1910 年 8 月 18 日に最初の大会が開かれ、ポール・ハリスがロータリー・クラブ全米連合会(16 クラブ)の会長に選ばれました。ロータリーの大会といっても、登録者は 60 人、ささやかなスタートでした。ロータリーについて連合体 という概念は現在も生きています。つまり、ロータリーにおいては、各ロータリー・クラブが主体性を持っているということです。

ロータリーの最初の会計年度は、第 1 回大会が終了した翌日、1910 年 8 月 18 日に始まりました。翌年度の 1911 年 8 月 21 日にロータリー全米連合会はロータリー国際連合体になり、再度ポール・ハリスが会長に選ばれ、会計年度もこの日程に合わせ 8 月 21 日の開始になっています。

さらに、翌年 1912 年 8 月、理事会が当時の国際ロータリークラブ連合会の会計監査を会計士に依頼した際、クラブ幹事と会計が十分な時間をもって大会に向けた財務報告を準備し、クラブ代議員の数を決定できるよう、会計年度の最終日は 6 月 30 日にするのが良いとの提案を会計士から受けたそうです。執行委員会は同意し、1913 年 4 月の理事会で 6 月 30 日を会計年度の最終日と決めました。それ以来ロー

タリー年度は、7 月 1 日になりました。すなわち、100 年近くも前から「ロータリー年度」は、6 月 30 日に年度が終わり、7 月 1 日から開始になっています。このことは国際ロータリー定款にも明記されています。

以上、事業年度が 7 月から 6 月の 1 年間になった経緯です。尚、ロータリーの国際大会は、1917 年まで 7 月または 8 月に年開催していましたが、1916 年米国シンシナシティでの年次大会において夏場の暑さを考慮して、大会を 6 月に開催する決議案を採択しました。これにより次の大会となるアトランタから 6 月に開催されるようになりました。

以上で会長卓話を終わらせていただきます。

幹事報告



小宮山 大介 幹事

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より米山
 功労クラブ感謝状が届きました。
 地区より

12/5 現在の新入会員速報

韓国青少年訪日団日程表届きました。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

越谷市商工会等 6 団体共催の 1/9 新春賀詞交歓会
 松崎会長参加

越谷クラブ、越谷東クラブ 12-1 月の例会予定掲示



米山功労者感謝状進呈



松崎義一会長・大島直行会員・末木照久会員
稲垣勝三会員・小河内梅幸会員・小林光則会員
宮崎敏博会員

3 分間ロータリー情報



大熊正行会長エレクト

本日は、地区 R 財団関係者に毎月配信される「財団室ニュース」という機関誌の中からの掲載記事から抜粋してご紹介します。

ポリオプラス

【あともう一步】

国際ロータリーがポリオ(小児まひ)撲滅のキャンペーンを始めて 35 年が経ち、ロータリアンの献身的な取り組みもあり、“ゴール、まであともう一步のところまで来ました。これまでのロータリーの寄付総額は 13 億ドルに上りますが、寄付と同様にロータリーらしい貢献と言えるのは老若男女にポリオ被害について理解を促し、世界的な協力者の輪を広げてきたことでした。この人類史に残るヒューマニズムの大作戦がいよいよ総仕上げの段階に差し掛かっています。

ポリオ撲滅になぜ多くの人が情熱を注ぐのかと問わ

れ、思い浮かべるのはノーベル平和賞に選ばれたマララ・ユスフザイさんです。現在 17 歳の彼女は、宗教対立の中で命の危険にさらされながら女性教育の必要性や平和を訴えています。マララさんが生まれ育ったパキスタンはアフガニスタン、ナイジェリアとともにポリオ常在国 3 カ国の一つですが、人々に希望を与えるべき子どもたちがポリオの被害で健康や命を奪われないようにする、それがポリオ撲滅キャンペーンなのです。

ロータリーが奉仕の柱の一つとするのが「教育」です。教育によって未来を開く前に、今なおポリオ被害で幼い子どもたちが可能性を奪われている現実を放置できません。「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去」するために第二、第三、第四のマララさんの登場が待ち望まれます。「未来の平和の担い手」である幼い子どもたちを守るために、ポリオ撲滅キャンペーンが不可欠なのです。

ポリオ撲滅キャンペーンの旗をあらためて高く掲げ、取り組みの意義を世界の人々と共有し理解を広げるよう務めなければなりません。より多くの人々と手を携えるため、ロータリーをノーベル平和賞の候補に、という声もあります。深刻な資金不足など課題は残されていますが、たゆまず、あきらめずに奉仕してきた取り組みを全うし、皆様と一緒に胸を張ってゴールの日を迎えたいと願っています。

(第 2 ゾーンポリオ撲滅コーディネーター舟木いさ子) 舟木様からは 11 月中にポリオ撲滅のために 2 口の大口寄付をいただいております。強力なご支援に、心より感謝申し上げます。

以上のように、ポリオ撲滅に引続きご理解ご協力をお願いいたします。日本では、既に遠い昔に撲滅されていますが、地球上の同じ人類の将来を担う子どもたちを救う為にも宜しくお願い致します。合わせて、ポリオ撲滅の近道の為にもロータリーカードへの加入とご利用をお願い致します。



スマイル報告



出席報告

・本日は年次総会よろしくお祈いします。

松崎義一

会員数 55 名

・本日はノーベル賞授賞式ですね。12/10 はノーベルが逝去された日で遺言により設定されたそうです。

小宮山大介

出席免除者 11 名

出席者 37 名

欠席者 18 名

出席率 72 %

・本日は年次総会です。次年度の理事役員の審議宜しくお祈いします。

関森初義・石川輝次・宮崎敏博

・大変寒くなってきました。風邪などひかぬよう体調に気を付けましょう。

大熊正行

・追突のもらい事故で車がおしゃかに、体も痛いです。皆様もお気を付け下さい。

堀野眞孝

・前回欠席申し訳ありません。岡崎勲・太田靖彦

・クリスマス例会宜しくお祈いします。大島直行

・世界平和の為に

市川洋和・中島正義・今井英治・末木照久

中村義雄・関雄二郎・松井昭夫・高橋忠克

・浦和レッズに愛の手を 小河内梅幸

・しばらく葬儀が無かったのですが又入ってしまいました、暮れになり又続くでしょう 石井知章

・昨日大腸ポリープを 2 個とりまして 1 週間禁酒と言われました。自信ないです 須賀篤史

・クリスマス例会欠席します 本間孝

・本日早退させていただきます。 若海兵馬

・本日もよろしくお祈いいたします。 高瑠美子

・ポリオ撲滅の為に 小林操

・ご無沙汰しております。欠席続き 高橋陽一

・誕生祝い有難うございます 小山哲央

・結婚祝い有難うございます 中澤伸浩

・いつもスマイルありがとう♡ 本間睦人



平成 26 年度年次総会



石川輝次 指名委員会委員長

去る 11 月 17 日に指名委員会を開催いたしました、次の方々を役員及び理事の候補者に指名いたしました。

2015-2016 越谷北 RC 理事・役員候補者名簿

役員	会長	大熊正行
役員	副会長	関森初義
役員	会長エレクト	松井昭夫
役員	幹事	会田謙二
役員	会計	鈴木英男
役員	会場監督(SAA)	小河内梅幸
役員	直前会長	松崎義一
理事		堀野眞孝
理事		一柳昌利
理事		石川輝次
理事		長谷川真也
理事		宮崎敏博
理事		高橋陽一
理事		松井昭夫
理事		中澤広樹
理事		本間睦人
理事		大島直行
理事		吉澤晴雄

理事大濱裕広

上記の候補者全員が年次総会に於いて承認されました。

2015-2016 会長挨拶(会長エレクト)



大熊正行次年度会長

皆様こんにちは、このたびは、年次総会におきまして、次年度 理事役員の承認を頂きまして、誠にありがとうございます。感謝申し上げます。改めて年度計画書を読み直して、本格的に来年早々には被選が始まるのだと緊張しております。皆様方と共に協力し、ご理解頂き頑張りますので何卒宜しくお願い致します。

2016-2017 会長挨拶(会長ノミニー)



松井昭夫 次々年度会長

ロータリーに入り 8 年目ですが、ご指名頂きましたので、次々年度の会長を仰せつかりました。皆様のお力を借りて、他クラブよりも素晴らしいと言われるようなクラブ作りをしていきたいと思っておりますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。



第 1886 回例会 平成 26 年 12 月 18 日

家族同伴クリスマス例会

ギヤザホールに於

会長挨拶



松崎義一会長

会員の皆様そして、会員ご家族の皆様今晚は。

本日は、1 週間ほど早い、クリスマス例会です。なぜ本日にしたかと言いますと、親睦委員会委員長の、大島直幸会員のお気遣いで 18 日に設定しました。

12 月 25 日は、是非ご家族でクリスマスの本番を迎えていただきたいからです。

限られた時間ではございますが、おおいに楽しんでいってください。

出席会場運営委員会そして、親睦活動委員会を中心に、おもてなしをさせていただきます。

宜しくお願い申し上げます。

尚、12 月 25 日(木) 越谷南ロータリークラブさんに、我が、越谷北ロータリークラブの、小河内梅幸会員が、卓話者として出席します。

ようやく上半期が終わりますので、簡単に、上半期の報告をさせていただきます。

7 月 2 日より、今年度がスタートをしました。出陣式を、南越谷の、砂場で行いました。

7 月 9 日 市川洋和会員の入会式を行いました。カウンセラーは、鈴木英男会員です。

7 月 12 日 地区の青少年奉仕部門セミナーに、今井英治委員長とともに出席してまいりました。

7 月 16 日 第 8 グループの会長・幹事で、越谷市長訪問をしてまいりました。

7 月 27 日 地区のロータリー財団部門セミナーに、若海委員長とともに出席してまいりました。

8 月 6 日 並木勇一会員の入会式を行いました。カウンセラーは、木村二夫会員です。

8 月 30 日 社会奉仕委員会を中心に、越谷ジュニア甲子園野球大会を開催いたしました。延べ 6 日間です

8 月 9 日 地区管理運営部門セミナーに、出席してまいりました。

8 月 20 日 ご夫人同伴例会を 浅草の屋形船でおこなないました。

8 月 23 日 地区の広報部門セミナーに、出席してまいりました。

10 月 1 日 ガバナー公式訪問

10 月 4-5 日 福島 浪江ロータリークラブとの合同例会を、福島の二本松で行いました。

10 月 24 日 地区研修リーダーセミナーで、関雄二郎会員がスピーチをされました。

10 月 26 日 越谷市民まつりに、社会奉仕委員会中心で、イベントを行いました。多くの、お子様に楽しんでいただきました。

11 月 15-16 日 地区大会が行われました。

12 月 10 日 越谷北ロータリークラブ年次総会が行われ、次年度以降の、おおまかな体制が決定いたしました。



小宮山大介 幹事挨拶

越谷北ロータリークラブ

「広げましょう 奉仕の輪」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



大島直行 親睦委員長挨拶



乾杯の発声



松崎会長率いるバンド演奏



当日誕生日の高橋陽一会員



松崎サンタによる子供たちへクリスマスプレゼント



最後は皆で「手にてをつないで」